

# せ

農業委員会だより

# せいろう

第19号

平成30年12月



荒廃していた農地が重機による整地作業等を行った結果、耕作可能な農地としてよみがえりました。

農業委員会では農業の基幹である「農地」を守り活かすため、耕作放棄地の解消に向けた活動を支援しています。



10月26日、西脇町長との意見交換会を開催し、ほ場整備の推進、遊休農地解消、担い手育成等について話し合いました。

**第23期  
農業委員会活動**

**地区担当の委員が  
農地、農業等に関するご相談に応じます。**

地区	四ツ谷、道賀新田、 上大谷内、真野、 丸瀧、桃山、山倉		中ノ橋、本諏訪山、 山諏訪山、本大夫、 山大夫、本三賀		山三賀、二本松、 外畑、正庵、別條、 八幡		蓮野、杉谷内、 甚兵衛橋	
担当委員 (Tel)	吉田春雄	28-7748	駒澤一男	27-4650	新保昇英	27-2083	新保 勇	27-4138
	能登惣一郎	27-8369	藤井敦子	27-8149			高橋文子	27-4310
			土田正義	27-5405				
地区	藤寄、大夫興野		苔沼、聖中ヶ丘、 蓮瀧、蓮瀧新田		網代浜、亀塚		次第浜	
担当委員 (Tel)	渡邊 昇	27-4500	曾根善治	27-4708	萩原美好	28-8676	宮下吉勝	27-1159
	新保昭治	27-4072	吉田芳春	27-7219	高崎信暁	32-5478	高崎信暁	32-5478

**「担い手サミット in やまがた」  
に参加して**

認定農業者会会長 宮下 吉勝  
11月8、9日の2日間の日程で「全国農業担い手サミット in やまがた」に参加してきました。初日の全体会では皇太子殿下を招いて全国各地から大勢の農業者が参加しました。そのなかでは、農業情勢が大きく変化する中、貴重な農業資源・技術を受け継ぐ可能性のある若者、女性などの多様な担い手を育成し、魅力ある産業としての発展を目指し、安心・安全な食糧を将来に供給することが宣言されました。

2日目の地域交流会では、山形県内で32コースがあるなか、私たちは大規模園芸団地における「山形セルリー（セロリ）」ときゅうり栽培で新規生産者を育成する取り組みを視察してきました。そのなかでは農協と熟練農家が独自の研修制度で新規就農者を受け入れ、育成を行い、技術の早期習得と経営の安定を支援しており、将来の地域の担い手を今後どのように確保するか模範となるようなすばらしい取り組みでありました。

このサミットに参加して全国の様々な農業者と交流し、今後の農業経営に生かせるとても良い機会となりました。



# 新規就農者紹介



石原 貴大  
いしはら たかひろ

苔沼

きっかけは友人のふとした一言。「祖父がさくらんぼを作っているから食べに行かないか。」

その時私は、さくらんぼは缶詰でしかほとんど食したことがありませんでしたが、想像していた甘酸っぱいイメージが掻き消されました。

「こんなに甘いとは思わなかった。」

聖籠町にてさくらんぼを食べた率直な感想です。この出来事がきっかけで、いずれさくらんぼを栽培したいと思い千葉から新潟へ四年前に移住しました。

一度、阿賀野市で地域おこし協

力隊として米農家、野菜農家での農業研修を経て、ようやく準備が整い新規就農をすることができました。今年からさくらんぼとネギの栽培をしています。道のりは長かつたですが試行錯誤し、時に失敗しながらも自然に触れた楽しく充実した日々を過ごしていることに満足しています。今時期は、家族と親戚に手伝いをして頂きながらネギの収穫を行っており、とても感謝しています。みんなでする農業も楽しいなと思う今日この頃です。

四年前に移住した際は、就農できるまでに課題がたくさんあり、ここまで辿り着くとは考えつきませんでした。まだまだ道半ばではありますが、今後農業を楽しみながら学び、人間性も高めていきたいです。



渡辺 均  
わたなべ ひとし

藤寄

農業一年生です。ぶどう、長芋とごぼうを作っています。

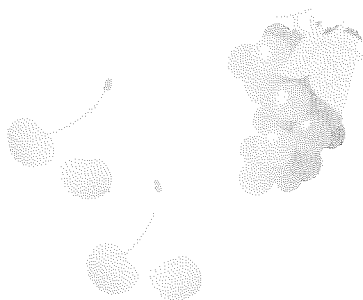
ぶどうは父から引き継ぐ形でしたが、他は自分で作付けするのは当然初めてです。

数ある失敗の中から1つ。ごぼうの播種でしょうか。最初のうちは手作業で播種していました。出来上がったごぼうを収穫してみると、トレンチャーの溝を外れて見事な朝鮮人参状態に。これから収穫するところは、播種機を使ったので、立派なごぼうが多くなるはずと思っています。

他にも雑草の抑制や施肥管理など、大小様々な失敗をしてしま

ましたが、次はもっと上手にできると思います。

来年は同級生3人で枝豆にも挑戦する予定です。失敗しないと覚えられないというのわかりませんが、農業の先輩たちにとっては当たり前の中でも、その時少しでも助言を頂けると有難いです。



# 11月6日に 農業委員会が意見書を町長と議長に提出しました。



## 意見書 (概要)

### 1 持続可能な農業へ向けて

高齢化等により担い手と言われる農業者が減少していくなか、農業者が安定した農業経営を持続させるには、農地利用の最適化の推進および農業用施設整備や組織育成など様々な支援策が重要であるため、今後も関係機関・団体と連携を図りながら、持続可能な農業の確立に向けた支援策を講じられたい。

### 2 担い手への農地の集積・集約化について

農業経営の規模拡大を図るためには、耕作の事業に供される農地等の集団化を図り効率的に耕作できるようにする必要があるため、農地中間管理事業の活用、地域の話合い（人・農地プランの作成）、基盤整備事業の活用などにより、担い手への集積・集約が図られるよう推進されたい。

### 3 耕作放棄地の発生防止・解消について

高齢化等による労働力の不足や土地条件が悪いことなど様々な要因による耕作放棄地が増加しており、農業委員会による耕作者への指導のみでは限界も感じられることから、耕作放棄地の解消対策として基盤整備の推進や遊休農地対策事業補助金の拡充など具体的な施策を講じられたい。

### 4 農業委員会の体制について

農地法等の改正により、相続未登記などで所有者が不明の農地の貸借を一定の手続きを経て可能とするとともに、農業用施設の床全面をコンクリート張りした場合でも農地扱いとすることとなったため、農業委員会事務局の新たな業務に対応するための体制整備及びそれに伴う適切な職員配置を講じられたい。

※ 意見書全文は農業委員会事務局で閲覧できます。

## 農地の最適化視察研修

会長職務代理 駒澤 一男

11月15日に埼玉県宮代町へ農地の最適化に関する取り組みについて視察してきました。宮代町は、埼玉県の東側に位置し、東京のベッドタウンとして人口が増え、現在は3万5千人位です。人口に占める農業の割合は、過去5割近くありましたが、現在は約5%まで減少、兼業農家が多く稲作が中心のことでした。遊休農地解消活動として、平成14年の国体開催の際に、全国から来る選手や関係者を歓迎するため、点在していた遊休農地に花を植えたのがきっかけで、その後も現在まで地道な活動を行い、平成29年には全国農業会議所会長賞を受賞されたとの事です。また、新規就農支援として農業担い手塾を開設し、条件はありますが年間150万円の助成が3年間続き、6年間で9人の方が新規就農されたそうです。その他にも、賃借料や農家の所得に向けての意見交換を行いました。



# 聖籠町賃借料情報は下記のとおりです。

平成 30 年 1 月から平成 30 年 12 月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10 a 当たり）は、以下のとおりとなっております。

聖籠町農業委員会

## 1. 田（水稻）の部

締結（公告）された地域		平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	筆数	使用貸借(筆数)
A 地区	30 a ~ 100 a の ほ場整備完了地	22,000	25,300	20,000	67	0
B 地区	10 a 区画地 (A・C)地区を除く全域	20,900	25,000	10,000	1147	27
C 地区	ビニール水田	21,200	24,000	20,000	19	0
(参考) 聖籠町平均		21,000	—	—		

## 2. 畑の部

区 分		平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	筆数	使用貸借(筆数)
普通畑	町内全域（普通作物）	6,000	14,100	4,000	41	26
特殊畑	町内全域 (果樹・工芸作物)	18,000	21,000	10,000	7	0

今後の地域農業を考えて！

蓮野逆川地区基盤整備推進委員会

会長 阿部 孝一

蓮野逆川地区は主に甚兵衛橋・蓮野・杉谷内・二本松の4集落の農業者が耕作しており、面積は約113haです。当地区内においても年々水稻農業者が減少し、旧耕地整理の現状の中で集積が進まない状態です。そのような現状を踏まえ、昨年から多面的事業を行う「蓮野環境保全チーム」の役員会等で協議を重ね、今年春に4集落から13名の委員を出していただき、「蓮野逆川地区基盤整備推進委員会」を立ち上げ活動しております。町当局、土地改良区の支援・協力をいただきながら、当地区内の農地全筆を農地中間管理機構へ貸付し、耕作者が農地中間管理機構から借り受けることによって、基盤整備の地権者負担金ゼロを目指し8月中旬より活動しております。

す。蓮野逆川地区のほ場整備事業を県に採択してもらえよう、委員会の中で協議して参りますので、今後とも、町当局、土地改良区及び関係皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



# 農家のみなさん、農業者年金に加入しませんか。

農政部長 曾根 善治

高齢化が進むなか、安心して老後を迎えるためには、今からしっかりと備えが必要。厚生年金に加入するサラリーマンとは違い、農業者は国民年金のみの方もいるので、老後の生活費に不安が残ります。農業者年金は、国民年金に上乗せできる農業者のための公的年金です。また、担い手対策も兼ねた政策年金という面もあり多くのメリットを備えているので未加入の方はぜひ加入をご検討ください。

- 「農業者年金6つのメリット」
- 一 農業者なら広く加入可能
  - 二 安全・安心な積立方式・確定拠出型
  - 三 保険料は自分で選べ、いつでも見直し可能
  - 四 終身年金で、八十歳前に亡くなった場合は死亡一時金が遺族へ支給される
  - 五 保険料の全額が社会保険料控除される
  - 六 一定の要件を満たす農業者には、保険料の国庫補助がある

## 農業者年金は老後生活をがっちりサポート

### 農業者年金のメリット

- 少子・高齢化に強い積立方式の年金!
- 終身年金で80歳までの保証付き!
- 支払った保険料は全額社会保険料控除!
- 手厚い政策支援! 保険料に国庫補助も

～農業者の方なら広くご加入いただけます～

一定の要件を満たす方に月額最高1万円、通算すると最大で216万円

### 農業者年金に加入すれば

～農業者年金の支給額(年額)の試算～

加入年齢	納付期間	運用利回り2.5%の場合	
		男性	女性
20歳	40年	757,200円	634,500円
30歳	30年	502,400円	421,000円
40歳	20年	297,500円	249,300円
50歳	10年	132,600円	111,100円

留意事項

この試算は、通常加入で保険料月額2万円で加入した場合の試算になります。実際の年金受給額は、年金裁定時まで確定せず、それまでの運用結果等により変動しますので、上記年金額を保証するものではありません。また、端数処理等によって実際の年金額は若干異なることありますので、試算結果は、一つの目安としてご利用ください。

農業者年金制度では財政運営の安定性を確保する観点から運用収益の一部を付利率備金や調整準備金として留保する仕組みとなっています。そのため、上記年金額は、これらの準備金への繰入を考慮して算定しています。年金受給総額は、年金裁定後、男性では86.5歳、女性では92.0歳(平均的な死亡年齢)まで年金を受給された場合の総額を表しています。早く亡くなられた方(80歳未満で亡くなられた場合には死亡一時金が受給されます)は、これよりも少なく、長生きされた方はこれよりも多く受給されることとなります。年金額の算定に当たっては、予定利率を0.2%(平成29年4月1日農林水産省告示)としています。

公的年金ならでの税制上の優遇措置

### 保険料支払いによる節税効果の試算(所得税・住民税)

税率	保険料の額が	
	月額2万円 (年額24万円)の場合	月額6.7万円 (年額80.4万円)の場合
15.1%の場合	36,000円	121,000円
20.2%の場合	49,000円	162,000円
30.4%の場合	73,000円	245,000円

●各欄の金額が節税効果で、保険料支払い後も適用される税率に変動がないものとして試算しています。

## 老後の備えは 農業者年金で安心!

お問い合わせは聖籠町農業委員会・北越後農業協同組合聖籠ふれあい営業所におたずね下さい。

聖籠町農業委員会 聖籠町大字諏訪山1635番地4 TEL 0254-27-2111  
 北越後農業協同組合聖籠ふれあい営業所 聖籠町大字大夫2166番地8 TEL 0254-27-5738

## 農業委員会の主な動き

平成30年1月～12月

- 1月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 1月25日 認定農業者会合同研修会
- 2月26日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 3月2日 郡市連絡協議会農業委員研修会
- 3月26日 農業委員会部会・総会
- 4月12日～13日 全国情報会議(東京都)
- 4月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 5月25日 農業委員会部会・総会
- 5月30日～31日 全国農業委員会長大会
- 6月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 7月25日 農業委員会部会・総会
- 7月27日 農地パトロール
- 8月7日 地域別農業委員会研修会(新発田市)
- 8月22日～9月6日 全農地利用状況調査
- 8月24日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 8月24日 農業者年金加入推進研修会
- 9月25日 農業委員会部会・総会
- 10月26日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 10月26日 町長との意見交換会
- 11月6日 意見書提出(町長・議長)
- 11月15日～16日 農地利用集積視察研修
- 11月22日 新潟県農業委員会大会(埼玉県宮代町)
- 11月26日 農業委員会部会(三条市)
- 11月30日 新発田地域農業振興大会(聖籠町)
- 11月29日 全国農業委員会会長代表者集会・国会議員要請(東京都)
- 11月30日 農業者年金加入推進セミナー(東京都)
- 12月11日 農業委員会現地研修会(新潟市西蒲区)
- 12月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議

**町内の農家・農地等の状況** (平成 30 年 12 月 1 日現在)

	農家数(戸)
総農家数	652
自給の農家数	226
販売農家数	426
主業農家数	120
準主業農家数	184
副業的農家数	122

※ 農林業センサスより

	農業者数(人)
農業就業者数	1389
女性	398
40代以下	167

※ 農林業センサスより

	経営数(経営)
認定農業者	147
基本構想水準到達者	40
認定新規就農者	6
農業参入法人	1
集落営農経営	3
特定農業団体	0
集落営農組織	3

※ 農業委員会調べ

単位：ha

	①田	②畑				計 (①田+②畑)
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,020.0	343.0	-	-	-	1,363.0
遊休農地面積	4.6	20.7	19.9	0.8	0.0	25.3
農地台帳面積	1,037.0	449.0	416.0	33.0	0.0	1,486.0

※ 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積

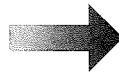
※ 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した農地面積

※ 農地台帳面積は農業委員会の農地台帳における農地面積

**遊休農地の再生利用を応援します!**



遊休農地の整備費の2/3を補助



農地として再生利用!

◆ 補助内容 ◆

対象者	対象経費	補助金額
①遊休農地を新規に取得又は賃借して耕作する者	①危険防止活動(抜根、草刈、耕耘等による環境整備) 周辺に迷惑を及ぼす遊休農地を解消する活動に要する経費	補助対象経費の3分の2とする。 (1回限り)
②地区協議会(農家組合単位で組織し、遊休農地所有者を含む3戸以上を構成員とする協議会)	②景観作物作付け活動又は耕耘、草刈等による保全管理 上記①の危険防止活動で整備した遊休農地の今後の保全管理に要する経費	補助対象経費の3分の2とする。 (年1回分、2回を限度とする。) ※1回分限度額2万円/10a以内

◎ 詳しいお問い合わせは産業観光課・農業委員会へ(☎27-2111)へお問い合わせください。

**農作業事故の防止に心がけましょう**  
**農業機械による公道への汚れ防止に心がけましょう**  
**堆肥による迷惑臭の防止に心がけましょう**

◆編集・発行

聖籠町農業委員会

〒957・0192

新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635番地4

☎

(0254)

27・2111

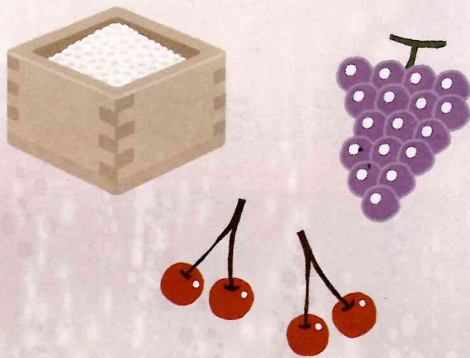
(印刷 天野印刷)



# がんばってる かあちゃん

杉谷内 <sup>か</sup>加 <sup>とう</sup>藤 <sup>きみ</sup>君 <sup>え</sup>衣

私は19年前に、新発田から嫁いで来ました。嫁ぎ先は、米・サクランボ・ぶどうの専業農家でした。初めは、子育てと家事との合間で少し手伝う程度でしたが、義父が亡くなり夫があとを継いでからは、米とサクランボは私たちで、ぶどうは義母がするようになりました。何を作るにも経費がかかり、天候に左右され、収入がこんなにも不安定だと思いませんでした。少しでも収入が得られるように、家の仕事の他に生産組合で働いています。今はまだ余裕がなく、あっという間に1年が過ぎていく感じです。これから、このような年がいつまで続くかわかりませんが、家族の健康を見守りながら日々過ごしていきたいです。



## あ と が き

今年は、春から西日本での豪雨や北海道での地震など各地で災害が発生しました。農業を営む者にとっては死活問題です。当地域においても、夏場の渇水、台風、秋の長雨と、農家収入に大きな影響がありました。安定した農業経営を行うためには、ほ場整備事業に取り組み、担い手不足や高齢化などを克服しながら、活力と力強さをもった農業を推し進めなければなりません。町全体でほ場整備事業の取り組みが盛り上がっています。皆様のご協力をお願いいたします。また、来年は、災害のない豊作の年でありますようお願いしております。

広報委員 新保 昭治

## 全国農業新聞

農業委員会のネットワークが発行する農業専門紙です。

★週刊金曜日発行 月700円

★申込：農業委員会事務局  
又は

農業委員・推進委員

★連絡先：27-1964